

令和元年度 政策対話における意見等への対応

産業労働部創業・サービス産業振興室
実施日：8/24（土）
場 所：シビック・イノベーション拠点
スナバ（塩尻市）

【産業労働部：創業希望者等への支援について】

<趣旨>

創業を希望する者、ベンチャー事業者に対する県の支援施策について

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
創業のきっかけ	<ul style="list-style-type: none">・①既存サービスに対する「憤り」、②蓄積による「自信」、③「お金」が動く目途という三つの要素がそろったタイミングで創業した。・親族が経営する事業が代替わりのタイミングであり、何か地域のためにできないかと思ったことと、一緒にやろうと言ってくれたパートナーがいたため。	○頂戴したご意見を参考にしながら、今後、創業を考える皆さんが一步踏み出せるよう創業支援施策の充実を図ってまいります。
	<ul style="list-style-type: none">・もうすぐ70歳になるが、長野県はシニアに対する取組が弱く、何かやりたいと言うと「シルバー人材センターに行つて」と言われる。人口減少のなかで若い人に活躍してもらいつつ、シニアの経験を活かす方法を考えてほしい。・大学内の研究者は研究が専門で、会社経営できない人が多い。大学発ベンチャーを立ち上げる際には、経営関係者とのつながりを作っておくことが大切。	○令和2年度は市町村と連携した創業支援拠点を設置し、創業に関するセミナーやイベントの開催、情報発信等を予定しています。こうした取組により、老若男女幅広い方が創業の第一歩を踏み出せるような事業構築を図ってまいります。 【創業支援拠点モデル事業 16,479千円】 <ul style="list-style-type: none">・開業率の向上や、新たな価値を創造する創業を促進するために、起業家や支援機関等が交流できる拠点を市町村と連携して設置
	<ul style="list-style-type: none">・会社員を辞めて起業をした際には収入が大幅に減るので、できれば会社員と起業準備を平行して行いたい。しかしながら、そういったことを認めてくれる企業は少ない。	○頂戴したご意見を参考にしながら、今後、社会全体が創業に関する理解を深め、誰もが創業にチャレンジできるような環境の整備や啓発に努めてまいります。

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
創業のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・最近だとワーケーションが盛り上がりを見せており、週末は地方にいるという働き方がスタンダードになってきた。同僚で、地方と都心をつなげるスタジオを作りたいというメンバーがいる。 	<p>○信州のリゾート地で「仕事」と「休暇」を両立させる『信州リゾートテレワーク』の推進を図ることで、多様な働き方やつながり人口の創出に取り組んでまいります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【リゾートテレワーク推進事業 19,066千円】 首都圏等からの新たな人の流れを創出し、地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のリゾートテレワーク環境を整備 ・都市圏企業等を対象としたPRの実施 ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした全国イベントの開催 </div>
創業時の苦労/欲しい支援	<ul style="list-style-type: none"> ・法務局、税務署、県税事務所、市町村等、起業する上で手続きしなければならない機関への書類提出をワンストップで出来るようにしてほしい。 	<p>○創業にあたっては、様々な機関に対して手続きを行う必要があるため、創業を考える方が容易に手続きを行える環境の整備は重要です。今後、頂戴したご意見や他自治体の取組・工夫なども参考にしながら、創業支援施策への反映を検討してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業は社員だけで成り立つものではなく、地域の理解があってこそ。地域を活かすという観点を行政にも意識してほしい。 ・県として、新しいコンテンツを活用した地域づくりを積極的にしてほしい。これまで接点のなかった人が長野県に関わるため、県、市町村、地域が連携して動ける支援をしてほしい。 ・実は県でも支援を整備しているが、その支援をもとめる方に情報がいきわたっていない。 ・ベンチャー企業は人材が不足しているので、人材マッチング支援をしてほしい。 	<p>※再掲 ○令和2年度は市町村と連携した創業支援拠点を設置し、創業に関するセミナーやイベントの開催、情報発信等を予定しています。こうした取組により、老若男女幅広い方が創業の第一歩を踏み出せるような事業構築を図ってまいります。</p>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
創業時の苦労/欲しい支援	<ul style="list-style-type: none"> ベンチャーコンテストやベンチャーサミット、アクセラレーションプログラム等の様々な事業を行なっているが、それぞれを有機的に結びつけるよう意識してほしい。 	<p>○県では、ご意見に挙げていただいたような事業を実施し、創業ステージに応じた支援を提供できるよう努めているところです。今後、県・市町村・民間支援機関等の支援施策の情報を一元的に発信する方策を検討するなど、各機関との連携を密にし、効果的な情報発信に努めてまいります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【創業支援拠点モデル事業 16,479千円】（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業率の向上や、新たな価値を創造する創業を促進するために、起業家や支援機関等が交流できる拠点を市町村と連携して設置 </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業向けのコワーキングスペースがあるとありがたい。 	<p>○県内の30を超えるコワーキングスペースのうち、ものづくり機能を備えたものは次の2箇所ありますので、是非ご活用ください。頂戴したご意見は、利用者のニーズも踏まえながら、県の創業支援施策に活かしてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆信州・学び創造ラボ（県立長野図書館内） 長野市若里1-1-4 / 026-228-4500 ◆信濃町ノマドワークセンター 上水内郡信濃町野尻1200-45 / 049-287-8807 （指定管理者：NPO法人Nature Service）
	<ul style="list-style-type: none"> 創業したいが、金銭面の問題もありダブルワークを考えている。しかしながら、所属する会社の上層部が理解を示してくれない。県から副業の啓発をしてほしい。 	<p>※再掲</p> <p>○頂戴したご意見を参考にしながら、今後、社会全体が創業に関する理解を深め、誰もが創業にチャレンジできるような環境の整備や啓発に努めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 実際にアクションを起こせる起業家には少額でも補助金を支給し、ビジネスが上手い原石を拾い出す支援をしてほしい。 	<p>○令和元年度より、地域課題の解決に資する創業を公募の上、選定しております。来年度も引き続き公募を行うとともに、モデル的な創業事例に関する情報提供や啓発等により創業支援施策を充実してまいります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【地域課題解決型創業支援事業 66,011千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・イノベーションによる創業を促進するため、創業に係る経費を助成 </div>